



生産緑地における稲作農家を中心とした取組

都市的地域

はねようすい

はむらし

羽用水保全会（東京都羽村市）

- 本地域は、羽村市西部の多摩川左岸に位置する市内唯一の水田地帯であり、水利施設等の保全管理は用水組合が行っていたが、農業者の高齢化と相まって、施設の老朽化等が進み、維持管理に苦慮していた。
- 本交付金の取組により、施設の点検、水路・農道の草刈り、泥上げ等の保全活動を持続的にける体制が整い、都市的地域の生産緑地における水田農業の持続と、水田を活用した農業体験やチューリップまつりなどの取組を支えている。

【地区概要】

- ・取組面積 7ha（田6ha、畑2ha）
- ・資源量 開水路1.4km、農道1.2km
- ・主な構成員 農業者 41 名
- ・交付金 約20万円（H29）

農地維持支払

活動開始前の状況や課題

- 本地域の水田は、地域の小学校の農業体験学習や、収穫後のチューリップ栽培、大賀ハスの植栽池などに利用され、観光資源として年間を通じて学びや交流の場を提供。
- しかし、用水組合の農業者の高齢化や農業水利施設の老朽化等により、維持管理作業や費用の負担が増大し、施設の保全管理に苦慮。また、営農の継続にも不安があった。

幹線水路



羽村市内の唯一の水田地帯

取組内容

- 平成27年度から本取組により用排水路の泥上げ、畦畔や用水法面の草刈りのほか、遊休農地の発生状況の把握、防止のための取組等も開始。また、本取組により、余力ができた用水組合は水路補修を直営で施工。
- 以前から、継続的に取り組まれてきた農業体験学習やチューリップまつり等の観光イベントにも協力。



活動組織による水路の草刈り



用水組合による補修作業

取組の効果

- 農地や農道、農業水利施設が適切に保全管理されることにより、農業の持続性と、様々な観光イベントの継続性が向上。

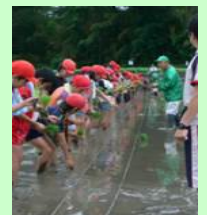
農業体験学習：参加者延11,943名（H28）
チューリップまつり：来場者約7万人（H29）

- 地域に密着した活動により、次世代へと文化・風習を受け継ごうとする機運が向上。
- 本取組により農業が継続されることで、市民・地域企業・市外を含むボランティアがサポーターとなっている観光イベントの更なる発展も期待。

チューリップオーナー（H28）
個人：127人
団体：61団体
会費：153万円
植付等ボランティア（H28）約1,700人



チューリップ祭り



農業体験